

キャラクター名
立川 彩歌(たちかわ さいか)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ハヌマーン	ワークス	傭兵	カヴァー	大学生
オプション		年齢	19	性別	女
覚醒	感染	衝動	恐怖	初期侵食率	35 %
出自	安定した家庭	経験	絶縁	邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	21
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	24
精神	2	0	0			2	戦闘移動	29
社会	2	0	0			2	全力移動	58

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	4		意志			調達		
運転：二輪	2		芸術：			知識：			情報：軍事	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナイフ	白兵	3r		2		
	射撃	2r		2		
スタンガン	白兵	3r				ダメージ付与時、硬直付与。シーン1のみ使用可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
鎖帷子		8	-1	-1	常備化道具として選択
ハードコート	8	2		-2	

所持品	
情報収集チーム	
医療トランク	
バイク	
コネ：要人への貸し	
コネ：情報屋	
常備化ポイント0勢	
思い出の一品	
サーチレーダー	
暗視ゴーグル	
財産点消費	

合計装甲： 10 合計回避： -1

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
D：音使い	P	N		
水瀬弥子	P 純愛	N 不安		
両親	P 遺志	N 隔意		
フェイトオブデス	P 執着	N 不快感		
渡辺五樹	P 尽力	N 敵愾心		
アマレット	P 執着	N 嫉妬		
	P	N		

最大財産P: 54 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ	2	2	Me					
効果：	C-Lv							
先手必勝	6	(+4)	常時	至近	自身	自動		
効果：	【行動値】+[Lv*3]							
電光石火	3	3	Me/Re					
効果：	判定+[Lv+1]D、Me終了後HP[1]D消費。							
ベーシックリサーチ	2	2	Me					
効果：	判定+[Lv+1]D							
アクティブソナー	3	2	Me/Re					
効果：	判定+[Lv]D							
影走り	3	2	Mi	至近	自身	自動		
効果：	戦闘移動。封鎖・エンゲージ無視。シナリオLv							
風の渡し手	3	2	Me	武器		対決		
効果：	対象を[Lv+1]体に変更、シーン1							
エンジェルヴォイス	3	4	Me	視界	単体	自動		
効果：	対象のC-1、判定+[Lv]D							
音界の王	1	6	Me					
効果：	組み合わせたハヌマーンエフェクトのLv+[1]。シナリオLv							
軽功	★		常時					
効果：	ビルの壁とか水面とか走れる							
蝙蝠の耳	★		Me					
効果：	聴覚超強化							
七色の声	★	1	Me					
効果：	変声機いらず							
彼方からの声	4	1	Me					
効果：	[Lv]km先まで声を届かせる							

常備化道具分は鎖帷子。
ほかのPC次第で行動値は調整予定

現在、大学生として勉学に精を出す少女。
ふとしたことでオーヴァードに覚醒したことで、それまで自分を愛してくれていた家族から突き放されてしまった。
それによって心が荒んだ彼女は、その能力を荒事を主とした雇われ仕事に使うようになる。
そんなある日、いつものように仕事をなるべく廃工場に向かう彼女を引き留める手があった。
それがのちに彼女の無二の友人となる、水瀬弥子(みなせひさこ)であった。
彩歌に更生してもらおうと彼女にたびたび接触し、はては戦場にさえ姿を現す弥子を見て彩歌は少しずつ彼女に心を開いていく。
そんな折、弥子が戦場でオーヴァードの攻撃を受けた。一命こそ取り留めたが、弥子もまたオーヴァードに覚醒してしまった。
この一件を機に彩歌は荒事から身を引いて、弥子とともに一般人として暮らしてゆく決意をした。
人を傷つける力ではない。人を守り支える力を磨いてきたつもりだ。
だが金を稼がなければ生活さえままならないのも事実。彼女は今も時折雇われ仕事を受けることがある。
生きるのは仕方がない。それでも、誰かを危険に晒すこの仕事は、できれば受けたくはない。

